

越後雪かき道場®

「越後雪かき道場®」は、各地域の住民が先生となり、信頼して雪かきを任せられる雪かきボランティアを育成していくプログラムです。これまでに山古志地域や川口地域など25か所以上で延べ60回あまりの道場が開催されました。その実績から見てきた、越後雪かき道場®(企画側)と地域との関係のつくり方について2つのポイントをご紹介します。



代表 上村靖司さん

想いを伝え共に汗をかく人を見出す

越後雪かき道場®を開催するにあたって不可欠なのは、先生役として雪かきを教えられる住民と、食事などのお世話をしてくれる住民です。そんな人々と協力関係を築くには、まずその地域をよく知る地域リーダーや行政などに、道場の主旨や内容、目指すことを理解してもらうことが第一歩。道場開催の意義に共感してもらえれば、後は地域のつながりで人材は掘り起こせます。そして、企画側がどこまでを担い、地域にはどこを担ってもらうかを丁寧に話し合うことも大切です。



丁寧な話し合いで地域事情に即した役割分担

地域側から主体的に活動に関わってもらうためには、やりがいや手ごたえを感じてもらうことが大切だと思っています。そのため、道場の実施前はもちろん、実施後にもみんなで集まり振り返りを実施。地域ごとに得意なことや体制、経験値も異なるため、丁寧に話し合い、それぞれに合った役割分担になるよう調整しています。さらに、参加したボランティアからの感想共有も地域側の「やってよかった」という喜びや張り合いといったモチベーションとなるので重要です。そしてうまくいけば、協力的体制が変化し、次第に地域側に主体性が生まれ、地域側の立場を考えながらこれらの機会を大切に重ねていくことで信頼関係が築けます。



越後雪かき道場®のこれから

「越後雪かき道場®」は、単純に過疎化・高齢化に苦しむ地域に、雪かきの担い手となるボランティアをつなぐといった支え方ではありません。私たちが取り組むのは地域の「受援力」を高め、自立して課題解決できる体質に改善するお手伝いです。地域内の「響き合う人」とつながり、信頼関係を築きつつ、特性に応じて任せる部分と支える部分のバランスを考えて道場を開催していきます。最終的には支える部分が小さくなり、やがて自立することが目標です。



we can do it!

私たちは〇〇ができます!

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

団体①

「茶道裏千家淡交会 中越青年部」は、お茶を活かした企画サポートができます!

私たちは50歳以下の裏千家茶道愛好者からなる文化団体です。美味しいお茶とお菓子のふるまいや、「茶の湯」を活かした和の空間づくりなど、茶道の視点から様々な企画をサポートします。これまでに長岡市成人式や市内の様々なイベントでお茶のふるまいをしています。

詳細はこちら

団体②

「特定非営利活動法人すまいるあいふサポート」は、空き家・住まいに関する相談に乗れます!

私たちは空き家所有者や住まいに不安を抱えている方に対し、ワンストップで相談対応できるよう専門事業者が集まり設立した団体です。空き家活用、まちづくり、シニアライフプランニングなどの相談にも乗りますので、まずはご連絡ください。

詳細はこちら

information

センターからのお知らせ

他団体とのマッチングをサポート! 「協働マッチングリスト」を活動に役立てませんか。

コラボ先や、協力してくれる団体を見つけたい!

地域活動に関わりたい!

誰かの力になりたい!

...と思ったときに!

協働センターに団体登録している市民団体の、「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめた「協働マッチングリスト」は、ながおか市民協働センターWEBサイト「コライト」からダウンロードいただけるほか、当センターでも配布中。掲載希望団体も募集中です! リストを開けば困りごとを助けてくれる団体が見つかるかも!?

コライト、見ないと!

コライト 検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこっでのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこっマ 2018.12.1 FREE 【発行】ながおか市民協働センター (vol.72)

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@aao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

らこっマ

Racotte vol.72
発行 ●ながおか市民協働センター



学業とボランティア活動の二足のわらじを履く大学生

山城時生さん interview

田村恵子さん 誰もが心豊かに暮らせる社会を目指すピアノ講師

- 活動PickUp!
- 長岡金春会
 - 新潟県の整理収納アドバイザーbecome
 - 特定非営利活動法人新潟県山野草をたずねる会・植生研究会
 - 長岡聾学校×(株)鈴木コーヒー×水道タンク友の会

- 市民活動・虎の巻
- 地域との信頼関係の築き方 『越後雪かき道場®』
 - 私たちは〇〇ができます! ●茶道裏千家淡交会 中越青年部 ●特定非営利活動法人すまいるあいふサポート

毎週月曜日17時頃から放送中!

つながるラジオ

ながおかの市民活動紹介番組

FMながおか 80.7MHz

放送時間 10分程度 第5日曜日を除く



山城時生さん〈21歳／大学生〉地域活動ボランティア
楽しみながら地域の困りごとを手助け
地域から学ぶ「学生」としてのボランティア活動のススメ

長岡大学に通う山城さんは、学業やサークル活動に勤む一方で、地域のボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。「困っている人を手助けするのは当然のこと」という考えから、困りごととあればフットワーク軽く駆け付けます。

そんな山城さんですが、大学入学前は人見知りがちで交友関係は広い方ではなかったそう。もっと沢山のひとと親交を持ちたいと思っていた折、授業の一環でボランティア活動に出会いました。「ボランティアを通して、それまで関わりのなかった幅広い世代のひとと交流できました。相手が私を頼ってくれるのが嬉しかったです」。授業を終えてからも活動を続けようと、長岡市山通地区の児童館が募集していたボランティアに自らチャレンジ。それ以来、山通地区には継続的に関わり続け「山通地区雪合戦大会」や

地区の敬老会などのお手伝いもしました。今では、何かあれば地区住民から山城さんへ連絡があるほどの間柄です。

「ボランティアをきっかけに交流の幅を広げたり、初めての経験をしたりと、見識などそれまで私に無かったモノを得られることが楽しみです」。そう話す山城さんにとって、山通地区の人々は先生のような存在なのだとか。「皆さんからは特に『相手のことを考える姿勢』の大切さを学びました。現場では、相手が何に困っているか察する力が重要ですから」。3年生の山城さんはそろそろ就職活動が気になるころ。ボランティア活動を通して培った、状況を把握して必要とされている行動をとるチカラを活かして、将来は困っている人に必要な情報を届ける仕事に就きたいそう。自身の強みを次のステージでも存分に発揮してもらいたいですね。



●上：ボランティアに出会うきっかけとなった鯉江先生のゼミに所属。地域コミュニティの振興に取り組んでいます。●左下：平成30年の悠久祭では広報部長を担いました。現場がスムーズに動けるよう入念に段取りを組むなど、ボランティア活動での経験や学びが学内活動にも活かされています。●右下：手伝いに駆け付けた山通地区の敬老会。地域のひと々から頼りにされたり、交流を深めたりすることも学生生活ではなかなか味わえない経験です。

profile

- 1997年 燕市に生まれる。
- 2016年 長岡大学入学。みんなで何かをつくり上げたいという気持ちから、サークルは学園祭実行委員と学友会執行部に入る。
- 2017年 1年生のときに授業でボランティアに触れた経験から、自主的に市民団体のイベントのお手伝いや児童館のボランティアに取り組む。特に山通地区には地域イベントのサポートなどで足繁く通うようになる。

活動の根っこ

自分が楽しむこと
山城時生



田村恵子さん〈59歳／ピアノ講師〉 四郎丸コミュニティ協議会委員、南中学校後援会会長
ボランティアを通じて広がった世界
自分ができることから豊かな地域づくりへ

長岡市内を中心に司会や伴奏のボランティアをしている田村恵子さん。明るく前向きな性格の田村さんですが、悩める時期があったからこそ今があるといいます。「結婚を機にピアノ講師を辞め、子育てに15年間専念していました。子育てのやりがいはあるものの、社会から隔離されているような感覚がずっと消えませんでした。母や妻ではない「田村恵子」の存在意義ってあるのかと考えてしまうこともありました。

そんな田村さんの地域活動の第一歩は、小学校のPTA活動。そこで出会った地域の先輩方からボランティアの心得を学んだそう。「ボランティアは“してやるもの”ではない。何が必要か考え自分たちも楽しんで取り組むこと。というのが今も沁みついています」。また、そのときのつながりから、東山にある子どもたちがもっと自由にのび

のびと楽しめるよう作られた冒険遊び場『赤城コマランド』の活動にも協力。ボランティアを通じて世界が広がり、人と関わる楽しさと大切さを知りました。さらに、同時期から始めたピアノ教室によって音楽の楽しさを再確認し、伴奏や音楽イベントの司会といった音楽ボランティアへと活動範囲が広がっていきました。

そんな田村さんが目指すのは、「みんなが心豊かに暮らせる社会」。最近では悩んでいた頃の経験から、子育てに悩めるお母さんたちを助ける『ステップ勇気づけセミナー』のリーダー資格を取得し、学べる場を提供しています。「仕事でもボランティアでも、誰かの心豊かな暮らしにつながってほしいなと思っています。そして、自分も助けられたように、肯定感を育むお手伝いができる人になれたらと思っています」。



●上：司会ボランティアをする田村さん。ピアノの発表会の司会経験が今に活かされています。●左下：頑張っているお母さんたちの応援団になるべく、学べる場を提供中。「自分も子育て中に支えられたので、次は私が支えていく番だと思っています」●右下：大好きな家族との写真。お母さんたちは全員自立し少し寂しさも。

profile

- 1959年 長岡市に生まれる。
- 1969年 母の口癖「芸は身を助ける」の言葉のもと、父からの薦めでピアノを始める。
- 1979年 北越楽器ピアノ科講師になる。結婚するまでの6年間勤務。
- 2000年 ピアノ教室を開業。PTA活動にも参加するようになる。
- 2010年 ピアノ伴奏や司会などボランティア活動を始める。声をかけてもらう機会も増えている。

活動の根っこ

まあるい笑顔
田村恵子

活動PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

長岡金春会

長岡に残る「能」の文化を後世へ伝承



能楽(能と狂言)の流派の一つである金春流の謡や仕舞の文化を継承しています。江戸時代、長岡城下では様々な芸能が市民協働で行われており、長岡藩主も代々能楽に堪能でした。能の舞台があった長岡城二ノ丸跡である現在のアオーレ長岡を拠点に春季、秋季大会(謡、仕舞の発表会)を開催し、あらすじ等をプロジクターに映し解りやすく解説。無料で鑑賞していただく機会を提供しています。是非お気軽に会場楽しんでいただきたいと思います。

新潟県の整理収納アドバイザーbecome

気張らずにできる片付けを

個々で活動することが多い「整理収納アドバイザー」ですが、「つながりがほしい」という声をもとに、平成28年、新潟県内の有資格者14名で立ち上げました。追い込んだり、苦しい片付けではなく、日々気張らずにできる「ふんわり・サクサク」とした片付けを目指し、セミナーなどを行っています。メンバーそれぞれ得意なものが違うので、互いに刺激し合いながら質の高いグループでいられるようにしていきます。



特定非営利活動法人新潟県山野草をたずねる会・植生研究会

環境保全で育む人の豊かな心



中学校教員として子どもたちと接する中で、自然との関りの必要性を強く感じてきた小日向孝さんが中心となり昭和57年に活動を開始。どんぐりから苗木を育てたり、八方台や関原糠山の里山の自然復元のための植樹や育樹、そして蒼柴の森の回復活動など長岡周辺の森林保全を行ってきました。発足から36年が経った現在も、「環境の破壊と心の崩壊は同根!」という思いで、「いのちの森」作りを目指し活動を続けています。

長岡聾学校×(株)鈴木コーヒー×水道タンク友の会 RO-カフェプロジェクト

RO-カフェプロジェクト

長岡聾学校が就労体験の場やノウハウを求めていた時、コーヒーの入れ方や販売のノウハウを提供できる鈴木コーヒーと、販売の場を提供でき地域のことを知る、水道タンク友の会とで、学校×企業×市民団体の「RO-カフェプロジェクト」を立ち上げました。平成30年11月30日に、水道タンクの見学付きカフェイベントを行い、それぞれの団体が出来る事で協働しています。これからも不定期ですが地域に出た活動を行っていきます。



みんなの声
投稿 随時募集中
「これも協働!」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿者 るんるんさん
この間の朝、車で会社に向かっていたら町内のごみステーションがカラスに荒らされていました。何気なく見ていたら、自転に乗っていた女子高生が自転車を停めてカラスを追い払って散らかったごみをきれいに片付けていました。何気なく見ていた自分が恥ずかしくなりました。自分も使うごみステーション、みんなのごみステーションなのね。

投稿者 魚座のCHJさん
ある日曜日の朝7時前、刈谷田川東側道路にそろそろと大勢の老若男女。思い思いの防寒着を身にまとい何をやるのか?と思ったら、道路と歩道に落ちた枯れ葉や雑草を片付け始めました。30分ほどすると、落ち葉で散らかった道路と歩道はスッキリしています。足の運びが不自由なお爺さんでさえも少しずつではあるけれど作業をしていましたよ。町内会のまとまりが伺えます。

投稿方法
投稿フォームを使う QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口で投稿する 協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

